

機能性建材比較検証システム

酒井 英二 紺野 康彦 吉田 昌司 岩野 秀之 島田 潔

キーワード：機能性建材, 比較検証, データベース, どこでも検索, どこでも入力

研究の目的

「新しい機能が付加された建材」あるいは「著しく高性能な建材」とされている機能性建材は、近年増え続ける傾向にあるが、その情報は十分には集まっておらず、建材としての基本的な性能についても不明なものが多い。

現状では各メーカーが独自の手法により評価しており、実環境に合ったものとはなっていないことが多く、設計・施工現場等で建材を選択する際、容易に

比較検証を行うことが困難な状況である。一方、効果検証結果や実績等があるにもかかわらず、情報を共有する手段が整備されていないために、有用な情報が埋もれている状況にある。

そこで、機能性建材を比較検証しながら選択でき、かつ埋もれている有用な情報の共有化も可能なシステム（機能性建材比較検証システム）を開発した。

研究の概要

図-1に機能性建材比較検証システムの概要を示す。

まず、情報の書式を統一することにより比較検証を可能にしようと考え、機能性建材情報収集シートを作成し、建材を取り扱っているメーカーにシートへの記入を依頼した（図-1 左側）。シートの項目は、製品名や会社名等の基本情報以外に、機能名称、製品概要、施工部位、材工区分、工種分類、特色、長所、使用上の注意、他社製品との違い、実績・件数、参考価格等とした。特に、項目としてはないが記入例において、製品概要では「製品機能のメカニズム」、特色では「耐用年数」、長所では「特許や各種受賞歴」、他社製品との違いでは「製品選択のポイント」、実績・件数では「当社での実績があれば、その時の建材メーカー等の担当者名および当社の担当者名」の記入を依頼した。合わせて、カタログ、サンプル、施工要領書、性能試験等の技術資料の情報収集も行った。記入依頼は、建材メーカー等計 238 社に対して行った。回答があったのは、126 社（回答率 53%）であったが、複数の建材を有するメーカーもあり、建材

数は全部で 300 を超えた。

つぎに、機能性建材情報収集シートの書式で収集した情報を機能性建材データベースに入力し、どこからでも情報の検索、閲覧および入力が可能なシステムとし（図-1 右側）、実績等の収集（フィードバック）に努め、埋もれている機能性建材に関する有用な情報の共有化を可能とした。

その収集情報を基に、可能な限りの範囲で比較検証を試み、評価を下せるようにした。

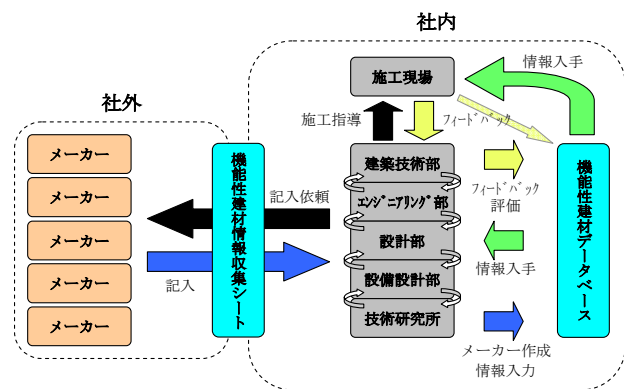


図-1 機能性建材比較検証システムの概要

研究の成果

機能性建材を比較検証でき、かつ埋もれている有用な情報の共有化も可能な機能性建材比較評価システムを開発した。本システムにより、情報の共有化および集約化が図られ、適切な機能性建材の選定が

可能となった。

今後は、運用段階での検証を行い、問題点を洗い出しつつ、継続的な運用を推進する。

Comparison Verification System of Functional Construction Materials

EIZI SAKAI YASUHIKO KONNO MASASHI YOSHIDA
HIDEYUKI IWANO KIYOSHI SHIMADA

Key Words : Functional Construction Materials, Comparison Verification, Data Base, Retrieval Anywhere,

Input Anywhere